

# 高知憲法速報

203 2009.7.2

発行;高知憲法会議事務局 088 - 872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

ピースウエイブ 2009 始まる

6月28日高知市京町・新京橋アーケード街で100万羽を超える千羽鶴の吹き流しが飾られ、「第27回平和七夕まつり」が始まりました。小中学校や福祉施設のお年寄りたちが平和を願い、心をこめて折ったものです。この場所は1945年7月4日米軍機125機による大空襲で焼け野が原になり、大きな犠牲を出した場所です。7月4日を中心に約1カ月にわたって様々な平和行事が取り組まれます。

戦争と平和を考える資料展 7月3日～9日

1979年に第1回高知空襲展を開催してから今年は31回目の開催となります。第1回高知空襲展は高知市民図書館で行われ、県下各地域から寄せられた資料や遺品を展示し、8000人を超える入場者がありました。今回は多くの団体が協力して企画を練り上げ、国際的な視野に立ちながら足元の戦争と平和を語り継ぐ内容の豊富な展示会になっています。

日時;7月3日(金)～9日(木)但し7月6日(月)は休館

午前9:30～午後5時(最終日は午後4時まで)

場所;高知市自由民権記念館(高知市棧橋通り)

展示内容;

高知空襲被災者が描いた絵

石川美代子、植田幸作、岡村正弘、金井明、北川健二、坂本安、中島恒子、野島祐多、野村丞子、穂岐山禮、前田和の各氏の体験が絵になりました。本人が描いた絵の他、梶田順子、土田京子、西森智恵子、松本高子の各氏が協力して作画。ストーリー漫画「僕が見た高知空襲」(西森智恵子さん)の原画も展示。高知空襲直後の高知市中心街の写真なども展示。

高知の風船爆弾工場の少女たち

土佐高等女学校、県立第一高等女学校、高知師範学校女子部、県立佐川高等女学校などの生徒たちが動員されていました。高知市旭には専門工場も。その様子をスケッチなどで展示します。風船爆弾の模型も展示。あわせて満州(中国東北部)の敷島高等女学校生徒の風船爆弾づくりも。

中島飛行機(愛知県半田市)学徒動員時のスケッチ動員されていた高知師範学校女子部生徒・八百川久須子さんが当時描いたものです。

戦争に反対した高知の人たち

反戦行動隊の活躍。決死の陸軍第44連隊兵舎への反戦ピラマキ。兵舎の中でそのピラを読んだ高橋繁義さん。反戦詩人の槇村浩。その他多くの高知の人たち。治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟が製作。戦死した父や兄や弟たち

写真、軍事郵便、遺書、戦死の公報、「その時の思い」を。再び戦没者を作らないと運動している平和遺族会が製作。

高知の戦争遺跡

福井康人氏(草の家研究員)が10年間歩いて確認した成果を公表。新発見の南国市山中、須崎市城山のトーチカも。

写真展「パレスチナの女たち」

写真家の古居みずえさんによる作品です。古居さんは1988年よりイスラエル占領地を訪れ、パレスチナ人による抵抗運動・インティファダを取材。パレスチナの人々、特に女性や子供に焦点を当てて取材活動を続けています。

中国に行つて確かめた大日本帝国の爪跡

「前事不忘後事之師」で始まった1991年の中国平和の旅。三光作戦の傷跡に声も出ない、辛く苦しい旅でした。衝撃の事実を写真とパネル数十点展示。合わせて旅の報告を「草の家ブックレット」でご覧ください。

米軍と自衛隊

米軍機低空飛行の記録。写真で確認された航空法違反。米軍機墜落事故。リマ海域。米軍再編と自衛隊。陸上自衛隊の新基地建設。高知県平和委員会が製作。お国ことばで日本国憲法前文

山本明紀さん(農業)が収集したお国ことばの前文。全文11県分(高知は3件)、一部訳27県(43件)を一室に展示。

憲法会議の運街頭宣伝署名・次回は7月19日  
6月19日憲法会議の署名は、3人の参加で24筆でした。6月20日九条の会の署名は小雨が時々降る中でしたが5人で93筆。中学生の反応悪くありません。次回は7月19日(日)午後1:30～グリーンロード予定。